



さんが

第一二八号

京都市伏見区淀新町六一八一

令和八年

TEL 〇七五-六三一-二二七二

西暦 二〇二六年

FAX 六三二-五七二五

正月

曹洞宗 東運寺

E-MAIL sanga@tounji.net

謹賀新年

玉龍山東運寺

住職 柳田彰宣

徒弟 慧亮

侑亮

寺族 マヤ

妙子



画 妙子 

令和の時代も、はや八年目となりました。
今年も、冬季五輪や野球のWBCなど、早々に
スポーツの大きな大会が開催されます。夏には、
サッカーのワールドカップもあります。

参加する選手たちにとっては、積み重ねてきた
すべてをぶつける舞台です。そこには、相手との
真剣勝負と、おなじ人間として尊敬し合える関係
があります。

応援する私たちは、その姿を見て刺激を受けま
すし、自分の勇氣にもできるでしょう。今から楽
しみですね。

ご本尊さまのもと、東運寺も新しい年をむかえ
ました。檀信徒皆さまのご多幸を、心よりお祈
り申し上げます。

永平寺に行つてきました

昨秋、恒例の団参にて、曹洞宗大本山永平寺へ参拝してまいりました。

永平寺は、ちょうど紅葉が真っ盛りで、思わず歩みが止まってしまうほどでした。てっぺんの本堂まで回廊を上がり、ご参加みなさまの、ご先祖さまを供養する法要にお参りしました。

他にも、臨済宗の名刹大安寺で、副住職様による笑いの絶えないご法話を拝聴し、楽しい学びの時間を得ることができました。そして泊まりは山代温泉です。北陸の幸とお風呂で、たっぷりと温まってまいりました。



東運寺からは住職夫婦をふくめて、六名で参加しました。全体では三名、バス一台の道中です。

団参は毎年あります。みなさまのご参加を、心からお待ちしています。

今年には六十年ぶりの丙午。住職夫婦は還暦を迎えます。六十年前のときは、赤ちゃんの出生数がぐっと下がったことで知られますね。丙午の迷信が、出産に影響したとされています。

そして今年。少子化が懸念されている昨今、今年もおなじように出産が控えられるのではないかとという不安と、いまの人はそんな迷信なんて知らないし、知っていても気にしないという見方と、両方あるようです。

丙午のことは明らかに迷信で、気にすることはまったくないと考えていますが、表に出てこないところで恐れを煽るようなことがないか、という心配もしています。

とくにインターネット上では、有益な情報に混じって、根拠のないうわさ話が、さも事実のように語られることが見受けられるからです。

今年にご出産のご予定がある方には、どうか年めぐりのご心配をされることなく、ぶじにお子さまが生まれますようにお祈りいたしております。



↑ ホームページ



↑ お寺の日常